

【本校研究テーマ】夢中になって問い続ける生徒の育成～教科の本質の迫る授業の工夫を通して～

これを受けて、健康教育では、「夢中になって問い続ける生徒」の姿を、“健康に生きる”という視点で、主体的に問いを持ち続け、学びの質を深めていく姿と捉えました。そして、この学びを実生活で活かすための力が大切だと考えます。そこで、生徒達の健康な今と未来につながる実践力の育成に焦点をあて、健康教育の研究テーマを次のように設定し、取り組んでいきます。

【健康教育研究テーマ】

未来を健康に生きる実践力の育成



健康教育でつけたい実践力は、次の3つです。

□ 学びの本質に気づく力

課題設定や話し合いの最初に、生徒達自身に思考のポイントを整理させます。
大切なことに自ら気づく経験の積み重ねが、どんな課題もその本質に気づく力を育てます。



□ 学び合いではぐくむ「自己有用感」「他者と関わる力」

学び合いをとおして誰かにつながることで、生徒達は自己有用感を感じ、「やれそうな気がする。」
「今の自分をよりよく変えたい。」「未来の自分のために頑張りたい。」と変化していきます。
そして、学び合いの中で、他者と関わる力も付いていきます。

□ 前向きで柔軟な思考力

くじけそうなときでも、あきらめず前向きに課題を改善していく力、自己成長につなげる力は、
その出来事の受け止め方が大きく影響します。

「こんな時は、どう対処するだろう…」多面的な見方と、自分の考えや気持ちを客観的に整理する過程を踏まえることで、前向きで柔軟な思考力を育てます。

